

8日 記念講演

筑紫氏・鈴木会長 対談

記念講演後

筑紫氏・鈴木会長対談

米子全日空ホテル

記念講演終了後



筑紫哲也氏・鈴木悌介会長 対談



逆境の時代に於ける YEGの役割

鈴木 本日はお忙しい中、私どもの全国大会で
ご講演いただきまして、ありがとうございます。
ました。

私達は中小企業の親の商売を受け継いだ
ものがほとんどです。当然『守り続けなけ
ればならないもの』はありますが、モノが
売れない時代このままではいけない。『変え
なければいけないこと』がたくさんありま
す。一度、自分の仕事を見直してみること
がすごく必要だと考えています。

筑紫 日本の社会はコンセンサス社会で、日本
中シャッター街になっているのは、その悪
い面が出ているからですね。日本の商店街
で、温泉街もそうですが、団体がなにかを
やろうとしても、変わろうとしても誰
かが反対してしまうと、全員が一致しない
と、誰も動かない、動けないんですね。青
年部が稟議を出しても、ここがすごく難し
い。

結局、組織じゃなく個人が始めて、それ
に賛同していく人が増えてきて・・・とい
う形が一番現実には成功している。そこで
青年部がそれとどう関わっていくかです
ね。あるいは青年部が中心になってやれば
もっとダイナミズムが出るはずなんです
ね。

温泉街について言うと、日本でも有数の
温泉の中で、ちょうど青年部に当たる人

が、何人かで、どうにかしようと考えても親
世代にどんな試みも全部阻止される。いよい
よ閑古鳥が鳴き始めて、ようやく試みを始め
ることができたという事例が全国で随分あり
ますよね。

例えば滋賀県長浜の黒壁スクエアなんかも
成功例だけど、あれもやはり、一人がやり出
してそれに皆がついていったという感じだす
ね。そういうことを、組織上やれるのか？あ
るいは誰かがやろうとした時に皆がそれをバ
ックアップしようとする形になれるのか？そ
ういうことが青年部にできるかどうかです
ね。

全体が変わろうとすることは本当に難し
い。何かしようとする必ず反対論が出る。
そうなる組織論なんです。組織が全員が賛
成しなくても誰かやりたいという奴がいれば
やらせるといふルールを作れるかどうか。ル
ールの問題がすごくあると思うんですね。
古い組織であればあるほど名前があるほど小
回りが利かない。膠着してしまっているとい
うことがあるんですね。全国のどこかで、
青年部が変えたり、始めたりした事例はあり
ますか？

鈴木 帯広の青年部でいくつかおもしろいこ
とをやっています。帯広の町の商店街の
15台ほどの月ぎめの駐車場に『北の屋